

子どもの心の 診療拠点病院機構推進事業

(子どもの心の診療支援事業)

山梨県



子どもの心の診療支援事業に関する 山梨県の取組み

- I 事業開始の経緯
- II 平成21年度事業報告
- III 平成22年度事業計画

I 事業開始の経緯

子どもの心の医療・福祉等の現状

(H21.2.16検討会議結果)

1. 全ての機関で受診が殺到し、深刻な待機状況がある。
2. 本格的な精神科治療を要する児童の増加
3. 生活の場がない児童の増加により入院期間の長期化
4. 児童相談所等の相談援助活動の困難化
5. 児童福祉施設に心の問題を持つ児童が増加し、支援困難化、不安定化

基本的な方向

(H21.2.16検討会議結果)

1. 子どもの心の問題・医療等を県の政策医療とし、児童・思春期医療を拡充する。
後期臨床研修レジレントを県立北病院が中心となり実施し、児童精神科医を人材育成する。
2. 一般医師が子どもの心の問題・医療等を実施できるように啓発し、一般医師への研修を県が実施する。

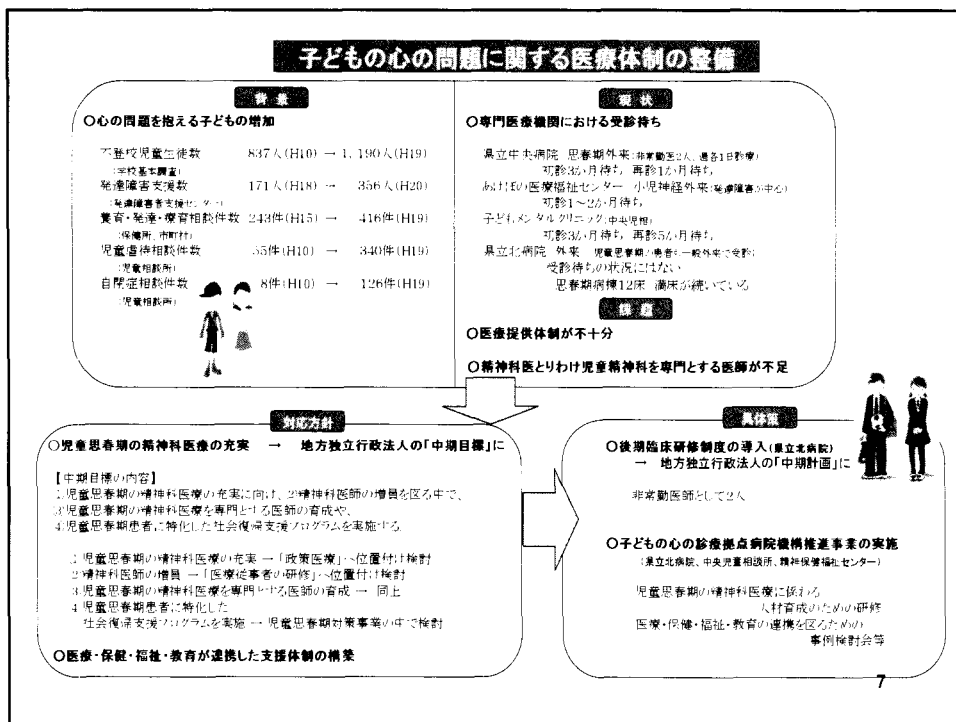
5

基本的な方向

(H21.2.16検討会議結果)

3. 児童福祉施策の充実と連携
県立北病院思春期病棟等を退院した後の生活の場の確保を図る。
4. 医療・保健・福祉・教育分野の連携体制の構築

6



事業開始

- 実施主体 山梨県福祉保健部障害福祉課
- 拠点病院
 - ・ 県中央児童相談所子どもメンタルクリニック
 - ・ 県立精神保健福祉センター
 - ・ 県立北病院
- 事業開始 平成21年10月

Ⅱ 平成21年度事業報告

平成21年度 子どもの心の診療支援事業

(1) 専門医療機関の診療体制強化

ア 中央児童相談所子どもメンタルクリニックに
児童精神科医と心理士を週1回1日追加配置

初診3カ月、再診5カ月待ち

⇒初診2, 8カ月、再診3, 8カ月待ち

イ 児童精神科医等のスキルアップ研修

毎月3回実施⇒うち2回県外講師で実施

専門医療機関の診療体制強化 実施結果

児童精神科医師等のスキルアップ研修

開催日	開催場所	内容	参加者数
H22年1月29日(金) 午後2時から4時	山梨県福祉プラザ 中央児童相談所 会議室	講義Ⅰ： 『思春期の総合的理解： 多軸診断という視点から』 講師：大分大学医学部小児科 こどもメンタルクリニック 精神科医師 清田晃生 先生	49名 (医師6名、看護師9名、 保健師2名、心理職17名、 精神保健福祉士2名、 福祉職他8名、センター5名)
H22年1月29日(金) 午後4時15分 から6時半		講義Ⅱ： 『思春期の精神力動的診断評価』 講師：慶応義塾大学医学部 白波瀬文一郎 先生	

11

(2)小児科医及び精神科医等の診療 体制強化

ア 診療対応力向上研修

小児科医及び精神科医等に対する専門研修

- 国中地域と郡内地域で各1回(3月12日・26日)
 - 内容「子どもの心の診療支援について」
- 講師 国立成育医療センター 笠原真理先生

イ 先進地研修及び専門研修

医師や専門職員を先進地医療機関や学会等に派遣

- 専門研修派遣
- 学会等研修

12

小児科医及び精神科医等の診療体制強化 実施結果

先進地研修及び専門研修

研修名	開催地	日程	参加職種	参加人数
子どもの心の診療に携わる専門的 人材育成セミナー	東京都渋谷区	H21年10月19日～21日	医師(1)	1名
PTSD対策専門研修会	東京都港区	H21年12月7日～9日	心理士(1)	1名
思春期保健対策専門研修 医師・コメディカルスタッフアドバンスコース	東京都 港区 大阪市 泉佐野市	H21年12月16日～18日 H22年2月15日～17日 H22年2月8日～10日	医師(1) 精神保健福祉士(1) 心理士(3)、 看護師(1)	6名
成人の自閉症スペクトラム診断 専門職講座	神奈川県横浜市	H22年2月11日	医師(1)	1名
先進地研修 三重県あすなろ学園	三重県津市	H21年11月30日～12月1日	医師・看護師・心理士 作業療法士 精神保健福祉士	7名

診療対応力向上研修

	開催地	日程	参加者数	参加人数
小児科医・精神科医と関係スタッフのための子 どもの心の診療支援研修 (子どもの心の診療支援について)	甲府市	H22年3月12日 pm7:00~9:00	小児科医・精神科医等	58名
	富士吉田市	H22年3月26日 pm7:00~9:00	小児科医・精神科医等	

事例検討会

	開催地	日程	参加者
思春期の処遇困難事例	北病院	H22年2月19日	医師、心理士、PSW、看護、児科、伊陽学園

(3) 関係機関との支援連携会議及び 庁内会議の開催

ア 支援連携会議(平成22年2月9日)

委員:小児科医会・精神科病院協会・精神科診療所協会・
学識経験者・児童養護施設・市町村・保健福祉事務所
及び庁内関係機関の代表

イ 庁内会議(平成21年11月20日)

委員:福祉保健部次長・福祉保健部総務課・児童家庭課・
障害福祉課・県立病院経営企画室・健康増進課・
中央、都留児童相談所・甲陽学園・障害者相談所・
精神保健福祉センター・あけぼの医療福祉センター・
育精福祉センター・富士ふれあいセンター・中央病院・
北病院・教育委員会の代表

Ⅲ 平成22年度事業計画

平成22年度 子どもの心の診療支援事業計画

(1) 専門医療機関の診療体制強化

ア 中央児童相談所子どもメンタルクリニック
に常勤児童精神科医と心理士を追加配置
(各1人)

イ 県立北病院に後期臨床研修医の研修
を委託 (2人)

(2)小児科医及び精神科医等の 診療体制強化

ア 児童精神医等のスキルアップ研修

子どもメンタルクリニック、精神保健福祉センター、中央病院、北病院、あけぼの医療福祉センターの医師等が症例検討による研修の実施(毎月3回うち3回県外講師)

イ 診療対応力向上研修

小児科医及び精神科医等への専門研修
県内2カ所(国中・郡内)で開催(各1回)

17

ウ 医師及び専門職員を先進地研修及び専門研修へ派遣(10人)

エ 医師、看護師、心理士、保健師など専門職員への子どもの心の問題に関する最新情報をシリーズで開催(6回うち3回県外講師)

オ 地域で子どもの心の問題に関わっている保育士や教員等への研修を開催(1回)

18

(3) 普及啓発事業

ア 児童精神科医療機関や相談窓口の一覧や子どもの心の問題に関する情報をホームページに掲載する。

イ 県民を対象に子どもの心の問題に関する講演会やシンポジウムを1回開催する。

19

(4) 子どもの診療支援連携事業

ア 関係機関との支援連携会議及び庁内会議を開催(各1回)

イ 通院や入院が必要な児童思春期事例に関わる関係機関職員による合同事例検討会を開催(6回)

20

平成23年度以降の 子どもの心の健康対策

○ 子どもメンタルケアセンター開設

子どもメンタルクリニックと発達障害者支援センター機能を中心に、児童相談所及び精神保健福祉センター業務の一部を統合し、診療・相談支援・療育支援・人材育成、研究等の機能を果たすセンター開設に向けて準備(21年度～22年度)